

1. 題材名 「くねくねアート・ランプシェード」

2. 指導計画（総時数9時間）

- 第一次 「何をつくるのかな。用具に慣れよう」・・・2時間
- 第二次 「どんな作品にしようかな」・・・・・・・・・・1時間
- 第三次 「自分だけの作品をつくろう」・・・・・・・・・・5時間
- 第四次 「鑑賞会をしよう」・・・・・・・・・・1時間

3. 指導にあたって

(1) 題材観

・針金を主材料として使う題材を、子どもたちはこれまで経験したことはなかった。身近にありながら、初めて加工する材料に出会うことにより、子どもたちは興味・関心を持ち、どんなものを作ろうかと期待や思いが膨らむことであろう。初めての材料に触れて、その特徴を感じ、それを生かした発想をさせたい。また、材料を加工するために使う用具、ペンチ（ラジオペンチ）の扱いにも慣れさせ、用具の扱い方に対する適切な態度を身につけさせることにも重点をおきたい。

(2) 児童観

・男子7人、女子9人、合計16人のクラス。授業中の態度は落ち着いた印象を受けるが、他児童と異なったことをすること、独自の考えを表現することについては二の足を踏む児童が多い。特に女子は足並みをそろえたがる傾向がある。図画工作においても、全体的に表現は当たり障りのないものになりがちで、自由で奔放な表現になかなかなりにくい。どこかで見たような作品や、他と同じような作品になる傾向も見られる。用具の扱いについても全体的に経験不足の観は否めない。

(3) 指導観

・針金は児童にとって初めて扱う材料であり、興味を持って取り組めることであろう。本題材ではまずは材料の扱い方について、用具に慣れることから始め、作品のデザイン、製作、鑑賞という手順で進む。デザインについては、製作過程においてどんどん発展的に変更がなされることであろうが、それについては材料を存分に与え、自由な発想を促したい。そのためにも用具の扱いに慣れさせ、「用具を自由に扱えることが表現の幅を広げることにもつながる。用具は大切だ」と言う気持ちまで持たせたい。そうして自身が執着して製作したものについては大切にしようとし、また他者の作品に対しても強い関心も持てるはずである。鑑賞についてもできるだけ多くの感想を発表させたい。

3. 本時の学習（本時 第三次 3 / 5）

(1) ねらい 計画をもとに用具を適切に使い、色々な材料を生かしながら効果的につくる。

(2) 評価規準 用具を適切に使い、材料を生かして効果的につくっている 【創造的な技能】

(3) 準備 針金（16番・18番・20番）、ペンチ、カラービニール、和紙・接着剤（市販）

(4) 展開

	学習活動	・指導上の留意点 ◆評価
1. 前時までをふりかえり本時の課題をつかむ	「ランプシェードをつくろう」 ・自分の計画をふりかえる	・デザインカードをもとにふりかえる時間を設ける
2. 製作する	《骨組みに色々なものを使って飾り付けしよう》 ・用具・材料の扱い方には気をつける ・材料に無駄が出ないように計画的につくる ・時々出来具合を確かめる ・友だちの作品を見る	・材料は十分に用意し選びやすい状態で提供する ・用具の扱いについては安全な使い方を押さえる ・丁寧な作業、独創的な作業、協力し合う姿をほめる ・切れ端などは決められた箱に入れるよう促す
	色々な材料を使ってだんだんランプシェードができ上がって来た。つづきが楽しみだ。	◆用具を適切に使い、材料を生かしながら効果的につくっている 【創造的な技能】
3. あとかたづけをし、ふりかえりカードを書く	「あとかたづけをして、ふりかえりカードを書こう」 ・次回の製作の事も考えて、ていねいにかたづける ・ふりかえりカードを書く	・用具・材料の後片付けの大切さを意識できるように声かけする

